

室戸は季節による景観にあまり変化が見られませんが、もう新緑の季節。この時期、青い空と深緑の山のコントラストが特に美しいですね。人の往来の制限が大幅に緩和され、観光シーズンが本格的に到来する兆しです。ゴールデンウィークがいいお天気になりますように。

ユースアンバサダーが新たに決定！

室戸高校在学中に、特にジオパークに関連した探究活動（保全、防災、持続可能な地域発展のための取り組み）に従事し、優れた成果をあげ、かつ卒業後も室戸ジオパークの動きに積極的に関わってくださる意志のある卒業生の中から、室戸ジオパークユースアンバサダーを任命しています。今回新たにユースアンバサダーとして、西本朱那^{にしもと あやな}さんを任命させていただきました。ジオパーク学を履修していた西本さんは、ユニバーサルデザインを取り入れたガイドツアーとPRツールの開発に、2年次から継続して取り組んでいました。現在は進学のため室戸を離れていますが、デザインの技術力を磨きながら、離れた場所からでも室戸ジオパークの情報発信のサポートをしていただく予定です。



朱那さん作成のポスター

室戸でおこなわれる研究とは？「サイエンスカフェ 2022」を実施しました。

2022年度、室戸ジオパーク学術研究助成金を利用して室戸市内で3つの研究活動（海の中で生きる生物：石灰藻と深海生物、防災）が行われていました。その研究成果発表会であるサイエンスカフェを、3月18日（土）に室戸市役所にて実施しました。5人・3組の研究者の方々に室戸に実際に来ていただいて、この1年の研究成果を室戸の地域住民の方々に専門的な言葉を使わず、わかりやすく解説していただきました。この制度は、室戸で多様な分野の研究活動を促進する目的で立ち上がった制度です。さらにその内容を実際に室戸で活動していた研究者の方々に直接伝えられることで、室戸の新たな魅力と価値に気づききっかけになればと思います。

各発表者の方の成果発表のあとは、参加していた地域住民の方も交えた座談会を行い、ざっくばらんに語り合いました。今回は小学生以下の参加者が多いのが特徴で、質問をする小学3年生もいました。「興味があるなら、うちの学校にできれば研究ができますよ」と研究者の方から声をかけられていました。サイエンスカフェは、毎年年度末に開催予定です。これまで知らなかった室戸の新しい面を、研究者の方と一緒に発見できる機会です。次回開催時にはぜひお越しください。



会場の様子。参加者の中には小学生の姿も。

Rock on the Rock in 御田八幡宮 開催

【イベント告知（詳細はInstagramで発信中）】

実施予定日：5月7日（日）

実施場所：吉良川町御田八幡宮境内

（雨天時吉良川公民館）

主催団体：Rock on the Rock 実行委員会

▷高知県内高校生バンドによる演奏（6組）※予定

▷御田八幡宮での飲食出店ブース（5店舗）※予定

※天候判断は開催3日前。荒天時中止。

※新型コロナウイルス感染状況による中止可能性有。

地元の高校生たちが地域の方たちの協力を得ながら、音楽によって地域を盛り上げることを目的にしたイベントです。室戸ジオパーク推進協議会は、このイベントの後援団体として運営のアドバイスをしています。

お問い合わせはRock on the Rock 実行委員会のメール(rockonmuroto@gmail.com)もしくはInstagramのDMで受け付けています。



佐喜浜大敷組合のインスタ誕生

室戸沖の海底地形と海洋深層水の恵みが支える室戸の伝統産業・大敷網漁業。室戸が世界に誇る無形文化遺産として、室戸ジオパークでもその漁法をユネスコが主催する国際会議や、ユネスコ世界ジオパークが発行する機関誌などで発信しています。

今回、大敷組合の1つである佐喜浜大敷組合がPR活動に力を入れるため、公式Instagramアカウント(右QRコード)を作成しています。室戸ジオパークで過去撮影した動画や画像を提供し、そのプロジェクトに協力しています。漁師さんの日常や、その日獲れた魚種なんかアップされています。ぜひのぞいてみてください。



YouTube



Facebook



Twitter



Instagram